

在宅取組型(中学校)

学校名等	黒川中学校 家庭教育学級
実施日時	5月29日までの休校期間中
会場	全校生徒の各家庭
参加人数	生徒35名+教職員10名
学習課題(分野)	家庭での過ごし方(自立心)
運営者の願い	「五感を生かして学び、家庭生活を充実させ、我が子との関わりを深める。」というテーマをかかげて、コロナによる休校期間中をいかに過ごしたか?今できること、今だからこそ、皆で共有できること、少しでも元気に過ごしたいと考えました。

学習の内容

<1. STAY HOME 家庭での過ごし方交流のお便りの発行>

- ・「家庭での過ごし方交流ワークシート」を作成して、生徒と保護者の欄の提出を依頼
- ・生徒個人で1枚でも、一家庭1枚の提出でも可。

<2. 各家庭での実践>

- ・お菓子づくり、リビング学校、親の手伝い、野菜を育てるなどの取組

自分の家では「リビング学校」と言って、家にいながら学校のようにすごしました。例えば、掃除の始めのチャイムで黙動をしたり、授業を始める時も中学校と同じ挨拶をしたりしました。

<3. 全家庭に取組の冊子配付>

- ・「令和2年度第1回家庭での過ごし方交流 File」を全家庭に配付。

*家族みんなが先生になり、お互いに分かることを教え合いました。→「教えるって大変!」学校の先生のありがたみを感じる体験でした。

*リビング学校で掃除の時間に兄弟みんなで掃除してくれたのが母はとてもありがたかったです。

*休校で学校に行けず、友だちにも会えず、大変でしたが、大きくなって、こんなにたくさん一緒に過ごせることはなかなかないので、とても充実したいい時間にすることができました。



【家庭での過ごし方交流 File の表紙】

<上記以外にも>

家庭教育学級研修講座⑤「1次救命処置を学ぼう」より

- ・夏季休業前に、在宅で18ページに及ぶ救命処置の資料をじっくりと読み込み、119番通報のロールプレイなどを親子で実践された。



コロナ禍にあって、「1次救命処置」「親子のノーメディアタイムに挑戦」「親子対抗スポーツに挑戦」「お正月飾りを作ろう」「気持ちを込めて我が子へのコサージュ作り」など年間14回にも及ぶ学びを精力的に計画しています。

また、どの取組も事後に必ず充足感・満足感をもって終えられるような工夫をしています。



1次救命処置やお正月飾り作りの講師には、身近な地域の中で講師を発掘され、「家庭での過ごし方交流ファイル」では家庭や学校、教育委員会をはじめとする地域全体で、黒川の子どもを育てているという一体感を感じました。